

第1編

債券業務

種類	1種		2種	
配点(推定)	40点 / 325点満点中		35点 / 200点満点中	
出題形式 (推定)	○×問題	2問(10点分)	○×問題	1問(5点分)
	4肢選択問題	3問(30点分)	4肢選択問題	3問(30点分)
対策	<p>この科目の配点は1種が40点、2種が35点と高く、合格のためには特に重要な科目であるといえます。</p> <p>まず債券の基礎知識で、国債・地方債を中心とする債券の定義及び債券の条件の出題がなされます。細かなところまで出題されますのでしっかりと理解・インプットが必要です。</p> <p>また、債券の発行市場、流通市場ともに基本的事項が問われますので得点できるようにしてください。</p> <p>債券実務では、公共債の窓販業務、ディーリング業務及びはね返り玉の買取り業務について、それぞれの定義と対象などの制度を押えておく必要があります。</p> <p>債券売買手法では、ラダー型・ダンベル型の他、現先取引、着地取引の細かな制度に関する問題が出題されます。</p> <p>計算問題では、利回り計算、単価計算、経過利子、受渡代金の計算が重要です。何度も問題を解いて必ず得点できるようにして下さい。</p>			

1種

2種